

「PTA広報誌ふくろば」第00号「より

自慢の職員

袋原中学校 校長 藤田義雄

昨年度のPTA広報誌「ふくろば」には、「自慢の生徒」と題して原中生の良さについて書きました。今年には本校職員について書くつもりです。

教職員の超過勤務の問題(働き過ぎ)などから、学校は職場としてブラックと言われることがあります。確かに否めないところであり、これまで当たり前のこととして行われてきたものの中にも、その必要性や妥当性が認められないものは積極的に見直しを図っていくべきだと考えています。

しかし一方で、原中生の成長をサポートする仕事に、自分の命を打ち込んでいる本校の職員たちがいます。仕事は大変なときもありますが、原中生の成長を実感したり、原中生が喜ぶ姿を見たりしたときは、言葉では表現できないほどの幸せとやりがいを感じます。

「生徒が主役の原中、そして、教職員も主役の原中」が、私の自慢です。

自慢の生徒

袋原中学校 校長 藤田義雄

毎朝、早く目が覚めます。それは、袋原中の生徒の皆さんのおかげで、毎日が楽しく気持ちウキウキしているからでしょう。いやいや、歳を取ったからではないですかと、突っ込まれそうですが…（笑）。確かに歳のせいもあるかもしれませんが、はっきりに言えることは、私は袋原中が好きということ。です。

中でも、私は皆さんの笑顔を見るのが好きです。なぜなら、元気をもらえるからです。私は皆さんの集中している顔を見るのが好きです。なぜなら、とても格好いいからです。私は集会で皆さんに話をするのが好きです。なぜなら、皆さんがしっかりと話を受け止めてくれるからです。私は皆さんと部活をするのが好きです。なぜなら、皆さんが私を快く迎え入れてくれるからです。そして、毎日一生懸命、掃除を頑張る皆さんは、私の自慢の生徒です。

「PTA広報誌ふるほら第000号」より

ブラビッシンモ

袋原中学校 校長 藤田義雄

仙台市立中学校は全部で六十五校あり、私は袋原中に2%未満の確率で赴任しました。

皆さんと出会い同じ時間を過ごせたことを神様に感謝したいと思います。

私にとって皆さんは、ブラボーの最上級の「ブラビッシンモ」です。

卒業おめでとう。

そして、これからもよろしく。

二十一世紀の、ど真ん中を歩んでいく、
きみたちの人生に幸あれ！

「PTA広報誌ふくろばら第100号」より

原中の二階フロア（100号記念）

袋原中学校 校長 藤田義雄

私は、校長室がある原中の二階フロアが大好きです。

このフロアには、卒業生の皆さんの教室があり、皆さんと過ごした一年は最高に幸せでした。神様に感謝です。

卒業後も、このフロアにたまに顔を出しに来てください。

卒業おめでとう。

そして、これからもよろしく。

二十一世紀の、ど真ん中を歩んでいく、
きみたちの人生に幸あれ！